



# 多様な現場で培った観察力で 本質と核心を突いた提案を



社会保険労務士早川幸男事務所

〒350-1133  
埼玉県川越市砂 593-12  
TEL 049-293-4478 / FAX 049-293-4475  
URL <http://www.office-hayakawa.jp>  
MAIL [info@office-hayakawa.jp](mailto:info@office-hayakawa.jp)

## Company data

代表 / 特定社会保険労務士

**早川 幸男**

埼玉県出身。早稲田大学商学部を卒業後は大手外食チェーンに入社し、現場からマーケティング、マネジメントまで幅広い業務を経験する。2000名以上の人材を育成してきたノウハウを他業種で活かそうと、2007年に社労士として独立開業。行政書士の資格も取得し、現在に至る。

## Personal data



川上 早速お話をお伺いしていきたいのですが、失礼ながら早川代表から受けた第一印象が士業特有の堅いイメージと違って、少し意外でした。

早川 「社労士っぽくない」というのは、皆さんからよく言われます（笑）。けれどそれは敷居の高さを取り払うためになるべくフランクなイメージを作りたいという狙いがあることなので、私にとっては褒め言葉です。お客様にジーン姿でお会いすることもありますし、今日もスーツを着ていくかどうか、直前まで悩んでいたくらいですよ（笑）。

川上 語り口も明るく、難しい言葉をお使いにならないので、こちらも話していて緊張しませんね。

早川 ありがとうございます。正直、社労士の仕事についてよくご存じでないという方は多いと思います。だからこそ難しいことを難しくお話しするのではなく、専門知識をお客様にも分かりやすくご提供することを心がけているんです。

川上 では、実際の業務内容についても聞かせて頂けますか？

早川 各種助成金の申請手続きや、労働保険・社会保険の新規適用手続きなどの代行はもちろん、就業規則やオリジナル業務ソフトの作成といったコンサルティングに至るまで、経営者様を幅広くサ

ポートさせて頂いております。また、当事務所では美容サロン様・飲食店様・保険代理店様など各業種に特化したご提案をさせて頂いていることも大きな特徴です。業種によって経営者様が抱えている悩みの異なるでしょうし、それに応じてこちらもサービスを変化させる必要がありますからね。

川上 代表のその臨機応変さは、どのようにして培われたのでしょうか。

早川 私はかつて外食産業で、現場勤務を経てスーパーバイザーやコンサルタント職など様々な立場を経験しました。多くの人材の育成にも携わるなかで、自然とそれぞれの職場やスタッフに必要とされていることを見抜く観察眼が養われたのかもしれないですね。例えば障害年金制度について考える時も、制度の本質的なところを疑うようにしています。障害

年金はある程度重い障害をお持ちの方でないと受給できないものなのですが、そもそもそのような方が自分の力だけで年金の請求手続きを行うのは難しい。そんな致命的な欠陥を見逃してはいけないと思っています。それがお客様にとっての不利を減らし、こちらでサポートできることを増やす鍵になりますから。ただ、やはり一番の原動力は「お客様に喜んで頂きたい」という正直な気持ちです。川上 熱い心をお持ちなのですね。今後のご活躍が楽しみです。

早川 私はこの仕事はサービス業であると思っていますので、肩肘張った“先生”になるつもりはありません。たまに熱くなりすぎることありますが（笑）、腹を割って笑顔でお話しして、最後にお客様から「ありがとう」と言って頂けるような関係をこれからも築いていきたいです。

## Guest Comment

川上 麻衣子（女優）

社労士を目指す方たちの講義や、民間企業の経営者が集うセミナーにて講師も務めていらっしゃるという早川代表。「相手のことを思うがあまり、つい業務以外のことまでアドバイスしてしまう」という人間味溢れるエピソードも聞かせて頂き、社労士に対するイメージが、良い意味で変わりました。

